

令和 2 年 7 月 6 日現在

機関番号：10104

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2019

課題番号：15K02400

研究課題名(和文)(ポスト・)ポストコロニアルな国際情勢を反映する現代ドイツ文学の研究

研究課題名(英文) Forschung zur deutschsprachigen Gegenwartsliteratur mit (post-)postkolonialen, internationalen Hintergründen

研究代表者

副島 美由紀 (Soejima, Miyuki)

小樽商科大学・言語センター・教授

研究者番号：20226707

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究はドイツ語圏におけるポストコロニアル文学を研究したもののだが、以前から行っていた旧ドイツ領アフリカ関係の歴史及び作品研究と英語圏由来のポストコロニアル理論を土台として、旧ドイツ領南洋及び中国の膠州湾租借地に関する現代文学作品を対象とした。結果として、ウーヴェ・ティム、トーマス・シュタンゲル、イリヤ・トロヤノフ、シュテファン・トーム等13人の作家による、『半影』、『唯一の場所』、『世界収集家』、『夷狄の神』等計15の作品を扱った。この研究の成果は、9回の学会発表、9本の学術論文として結実し、論文のうち3本は、発行予定の2冊を含む書籍三冊の一部として出版及び出版予定である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ドイツにおける植民地支配の省察的歴史研究及び文学作品の誕生および批評はようやく1990年頃に始まったもので、日本のドイツ文学研究にとっても新分野であった。当研究は、まず英語圏で誕生したポストコロニアル理論を援用しながらドイツ語圏のポストコロニアル文学を論じたもので、取り分け旧ドイツ領のアフリカ、南洋および膠州湾租借地のそれぞれの歴史に注視した点においても日本においてパイオニア的な研究であった。

研究成果の概要(英文)：Diese fuenfjaehrige Forschung behandelte postkoloniale Gegenwartsliteratur im deutschsprachigen Raum. Auf den Vorstufen der Studie ueber die Geschichte des Deutschen-Suedwest-Afrikas und die aus dem angroamerikanischen Sprachraum stammenden postkolonialen Theorien basierend, befasste sich die Forschung auch mit den Gebieten der Deutschen Suedsee und des Deutschen Pachtgebiets in China. Sie handelte insgesamt fuenfzehn literarische Werke (wie "Halbschatten", "Der einzige Ort", "Der Weltensammler", "Gott der Barbaren") von insgesamt dreizehn Schriftstellern ab, wie Uwe Timm, Ilija Trojanow, Thomas Stangl, Stephan Thome usw. Die Ergebnisse dieser Forschung wurden in Form von neun Vortraegen und neun Abhandlungen bekanntgemacht, unter denen drei in einschlaegigen Buechern veroeffentlicht werden.

研究分野：ドイツ文学

キーワード：ドイツ現代文学 オーストリア現代文学 ポストコロニアル文学 植民地文学 旧ドイツ領植民地

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

#### 1. 研究開始当初の背景

ドイツにおける植民地(旧ドイツ領のアフリカ、南洋、膠州湾租借地)支配の省察的歴史研究は、ようやく 1990 年頃に始まった。その背景には、ドイツ統一によって当時の文献研究が容易になったことや、国際刑事裁判所の設置により、ジェノサイド研究が深化を遂げたこと(すなわち、旧ドイツ領アフリカである現在のナミビアにおいて 1904 年に起きたヘレロ・ナマ戦争が、人類の歴史上最初のジェノサイドとして認知されつつあったこと)、またドイツ語圏の学者たちが英語圏におけるオリエンタリズムやポストコロニアル理論の影響を受けたこと等がある。ドイツ語によるポストコロニアル文学も誕生するようになった。これらは日本のドイツ文学研究にとって未開拓の分野であり、これまで研究対象になることがなかった。従って本研究はこの新分野に着目したものである。

#### 2. 研究の目的

本研究の第一の目的は、ドイツ語圏における「ポストコロニアル」という現象に関わる作家研究・作品研究を行うことであるが、同時にポストコロニアル理論やドイツ語圏における言説の変化にも目を配り、それらが受容され、変遷を経るに応じて(つまり、「ポストコロニアル」が「(ポスト・)ポストコロニアル」という状況に変化するのか、であるが、実際にはそれは「脱コロニアル」と呼ばれるようである)どのように文学作品の構築や解釈に変化が生じるか、という問題をも視野に収めることも目的の一つであった。

#### 3. 研究の方法

国内に所蔵のない書籍や雑誌、また閲覧不可能な古書については、ドイツに出張し、ベルリン国立図書館において文献収集活動をすることにより、通常の作家・作品研究を行うことが出来た。これは伝統的な研究方法であるが、それに加え、ベルリン国際文学祭における討論や市内で行われる朗読会に参加することによって見聞を深め、ポストコロニアルおよびインターカルチュラルが交接する状況や、ドイツにおける言説の変遷等に関する理解の深化を計った。また、ベルリン在住の文学批評家へのインタビューによっても情報収集活動を行った。さらには、国際学会や国際シンポジウムに参加し、ドイツ語圏の専門家および研究者と交流することによって、作品研究に関する新しい可能性や異なる視点等についての刺激を得ることが出来た。

#### 4. 研究成果

以前から研究を行っていた旧ドイツ領アフリカ関係の歴史及び作品研究を土台として、旧ドイツ領南洋及び中国の膠州湾租借地に関する現代文学作品に関し、論文を発表することが出来た。また、「新しい世界文学」という呼称を経つつあるインターカルチュラル文学についても視野を広げることが出来た。結果として、ウーヴェ・ティム、ハンス・クリストフ・ブーフ、ズィビレ・クナウス、クリスティアン・クラハト、トーマス・シュタンゲル、イリヤ・トロヤノフ、ラウル・シュロット、ゲアハルト・ザイフリート、マリオン・ポッシュマン、シュテファン・トーム等 13 人の作家による、『半影』、『宣教師』、『帝国』、『唯一の場所』、『世界収集家』、『フィニス・テラエ』、『黄色い風、あるいは義和団の乱』、『夷狄の神』等計 15 の作品を扱った。この研究の成果は、9 回の学会発表、9 本の学術論文として結実した。学会発表のうち 3 件は、韓国における「ソラク・シンポジウム」、また札幌における「アジア・ゲルマニスト会議 2019」等、国際学会ある

いは国際シンポジウムにおけるものである。また論文のうち1本は、既刊の書籍『Zaesuren - Welt/Literatur』に収録された。他の2編は、来年度発行予定の関連書籍二冊に収録される予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 副島 美由紀	4. 巻 34号
2. 論文標題 トーマス・シュタンゲルの『唯一の場所』におけるポストコロニアル性 - ドイツ現代文学における「新しい世界文学」との関連において -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 オーストリア文学	6. 最初と最後の頁 1 - 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.20553/austriabungaku.34.0_01">https://doi.org/10.20553/austriabungaku.34.0_01</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 副島 美由紀	4. 巻 158号
2. 論文標題 俳諧紀行と自殺願望の国で - 『松島』 : マリオン・ポッシュマンによる新たな日本旅行記 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ドイツ文学	6. 最初と最後の頁 8-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.11282/jgg.158.0_8">https://doi.org/10.11282/jgg.158.0_8</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 副島 美由紀	4. 巻 132輯
2. 論文標題 トーマス・シュタンゲルの『唯一の場所』と「記号の山での旅」 - シュタンゲルとドゥルーズ、アルトー、脱構築理論について -	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小樽商科大学人文研究	6. 最初と最後の頁 129-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10252/00005608	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 副島 美由紀	4. 巻 25号
2. 論文標題 ドイツ現代文学における「空間論的転回」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Language Studies : 言語センター広報	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10252/00005618	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 副島 美由紀	4. 巻 130輯
2. 論文標題 新しい“オセアニズム”と旧ドイツ領南洋 旧ドイツ領ニューギニアに関する現代ドイツ文学を読む	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 小樽商科大学人文研究	6. 最初と最後の頁 87 - 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10252/5524	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 副島 美由紀	4. 巻 131輯
2. 論文標題 現代ドイツ文学における探検旅行の回帰と不在の他者 旧ドイツ領南洋に関する現代文学の場合	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小樽商科大学人文研究	6. 最初と最後の頁 31 - 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10252/00005541	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計9件(うち招待講演 2件/うち国際学会 3件)

1. 発表者名 Soejima, Miyuki
2. 発表標題 Postkoloniale Literatur ueber koloniale Interventionen Deutschlands in China und im Pazifik
3. 学会等名 Sorak Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soejima, Miyuki
2. 発表標題 Die Welt als Vexierbild: Raoul Schrotts Erstling Finis Terrae
3. 学会等名 第27回オーストリア現代文学ゼミナール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 副島 美由紀
2. 発表標題 ドイツ現代文学における「新しい世界文学」について -ウーヴェ・ティムの『半影』を例に-
3. 学会等名 北海道独文学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 副島 美由紀
2. 発表標題 "Eisenspaene in die unsichtbaren Magnetlinien streuen"? Eine paratextuelle Annaeherung an Die Liebe zur Zeit des Mahlstaedter Kindes
3. 学会等名 第25回オーストリア現代文学ゼミナール
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 副島 美由紀
2. 発表標題 The Baining Massacre: The Gazelle Peninsula under German and Japanese colonial rule
3. 学会等名 Pacifisms (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 副島 美由紀
2. 発表標題 Welthaltigkeit, Weltliteraritaet und (Post-)Kolonialitaet der deutschen Gegenwartsliteratur
3. 学会等名 第59回ドイツ文化ゼミナール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 副島 美由紀
2. 発表標題 旧ドイツ領南洋に関する現代ドイツ文学の動向
3. 学会等名 北海道ドイツ文学会 第79回研究発表会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Soejima, Miyuki
2. 発表標題 Fremd- und Feindbilder in den alten und neuen China-Romanen
3. 学会等名 アジア・ゲルマニスト会議 2019 札幌大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Soejima, Miyuki
2. 発表標題 Gnadenlose Bodenlosigkeit und grosse Zaertlichkeit - Ueberblick ueber Werke Thomas Stangls
3. 学会等名 第28回オーストリア現代文学ゼミナール
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 Japanische Gesellschaft fuer Germanistik (Hrsg.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Iudicium Verlag	5. 総ページ数 274
3. 書名 Welt/Literatur – Formationen und Funktionen der Literatur in Prozessen der Globalisierung	

1. 著者名 Thomas Schwarz, Michael Yates (Hrsg.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 立教大学出版会	5. 総ページ数 ?
3. 書名 Pacific insularities	

1. 著者名 Organisationskomitee der AGT 2019 (Hrsg.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Iudicium Verlag	5. 総ページ数 ?
3. 書名 Tagungsband der AGT 2019	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----